

議会だより

定例会

令和7年第2回定例会は6月12日に招集され、提出された案件を審議し閉会いたしました。

委員会報告

総務産業常任委員会

- 調査期日：3月7日
- 調査事項：財政状況について
- 調査結果：指摘事項なし

- 調査期日：3月25日
- 調査事項：特別養護老人ホーム北竜町永楽園の運営状況について
- 調査結果：指摘事項なし

- 調査期日：4月30日
- 調査事項：空き地・空き家対策について

調査結果：町空き家台帳より、特に建物倒壊の危険性が高く放置しておくとな身事故や近隣住宅を損傷する恐れのある2件を選定し、現地調査を実施致しました。

両物件とも空き家状態が長期化し、経年劣化が激しく倒壊や物損事故が発生する恐れが極めて高いと思われる。よって、早急な両物件の除却に向け、北竜町空き家等の適正管理に関する条例に則り、より強い対応を講ずるよう求める。

承認

- 専決処分承認を求めるところについて
- 〔北竜町税条例等の一部改正について〕

原案可決

- 北竜町国民健康保険条例の一部改正について
- 安全で住みよい町づくりに関する条例の一部改正について
- 北竜町辺地総合整備計画について
- 令和7年度北竜町一般会計補正予算（第1号）について
- 令和7年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業会計補正予算（第1号）について
- 北竜町バス車庫他建設工事

請負契約の締結について
○ 岩村橋補修工事請負契約の締結について

報告済

- 令和6年度北竜町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
- 株式会社北竜振興公社の経営状況を説明する書類の提出について

一般質問

6月12日に開会された第2回定例会では、4名の議員から5件の一般質問がありました。



澤田議員

北竜町の新しい小中一貫教育のあり方について

意見書提出

次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。
○ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

澤田議員

人口減少社会の中で、まちづくりの力点を何に置くのか、少ない人口の中で特化した部分が求められる。

次代を担う子ども達の教育が重要であり、学校統合を前

提に、北竜町の小中一貫教育について、それぞれの授業や課外活動をどの様に変えていくのか。また、一貫した教育を整えていくために、幼児教育については保育園との連携をどの様に考えているのか。

特色ある教育という面でのデジタルツールの活用をどの様に考えているのか。今後、どの時期から行うと考えているのか、伺いたい。

田中教育長

小学校と中学校を一貫した教育課程、指導体制のもとで結びつけ、連続性ある学びと支援を行う小中一貫教育は、極めて有効な取り組みであると考えている。特に、小学校から中学校への進学に伴う学習や生活の断絶を緩和する事が出来る点は大きな利点である。また、教員が9年間を通じて子どもを見守る体制が整うことで個別の状況に即した指導、支援が継続して行う事が可能となる。

更に、地域との連携や家庭との協力体制も一層強化される事が期待される。本町としても、小中一貫教育の推進は一層重要な施策として進めなければならぬ。

本町は令和11年度に義務教育学校を開校する。その開校へ向けた準備そのものが、小中一貫校を一層充実させると考えており、その第一歩とし

て、小中学校の教職員が同じテーマで学ぶ新しい学校づくり研修会をスタートさせた。

過日の北海道教育庁空知教育局義務教育指導監による学校経営訪問では、両校の授業を参観頂き高い評価を頂いた。

これはまだ構想の段階であるが、令和8年度には教育課程特例校を考えている。その中で新教科を開設し、英語に親しむ英会話科、北竜を学ぶ北竜科等を設置し実践しているよう進める。

保育園と小学校の連携について、これまで相互の訪問や情報交換等の場を設けて連携を進めてきた。これからは、小中学校での英会話科を始められるよう、保育園と小中学校の教育を互いに理解する接続期研修の充実や、国の幼小の架け橋プロジェクト等の施策を参考にしながら、北竜らしい保小連携を進め、全ての子どもが安心して小学校生活を送るスタート出来るよう進めてまいりたい。

デジタルツールの活用について、まだ構想の段階ではあるが、義務教育学校開設時

目途として、学校のデジタル化の進展を図る。

成績管理、出欠管理、保護者との連絡等を一元化する事で、学習履歴や評価を分析し指導法や方法を見直し教職員の業務の効率化を目指していく。

また、教科書ではわかりにくい内容も、動画や3Dモデル等を使って視覚的、体験的に理解出来るよう教育の質向上と情報活用能力の育成を目指し、子ども同士の共同学習の強化、学習環境の改善等、デジタルツールを最大限に生かせる学校環境の整備を進めてまいりたい。

澤田議員

これからは次代を担う子ども



澤田議員

義務教育学校と複合施設設置計画について

澤田議員

佐々木町長は、関係人口を求める事により、一定の町の

も達の教育が重要だと思う。今後は発想の転換をしなければならぬ時にきていると強く思う。

北竜町の学校教育方針案は、優れた内容であり、魅力的な教育によって北竜町をアピールする事も出来ると思う。幼児教育面で、保育園との連携をどのようにするのか、小中学校の教師との連携等、多くの課題をどのようにして解決していくのか。

田中教育長

大変難しい事ではあるが、まずは英会話科を通じて保育園と小中学校が連携をしながら、試行的な交流を重ねながら次の解決策を見出ししていきたいと考えている。

の設置と合わせて、複合施設の設置計画は町長と教育長の連携が重要だと思う。

町長の示した、関係人口と北竜ひまわりホールディングス構想は、複合施設とリンクする部分があるが予算について資機材価格の高騰や人件費の大幅な増加によって計画通り進められるのか危惧するところである。

月形町では、負担が倍増したとして義務教育学校の建設を断念したとの報道があった。北竜町の場合、予算規模としてどのような状況にあるのか、また、複合施設とは別に義務教育学校の設置には大きな期待をするところであり、町長の考えを伺いたい。

佐々木町長

北竜町公共施設等再配置計画策定時において、概算で約42億9千万円だった施設整備費が北竜町学校等複合施設基本計画では概算で約50億1千万円となる。令和9年度時点での概算事業費は、年間3%の上昇を見込み約55億9千万円を見込んでいます。当初計画からは、3割程度の増加とな



り、8%程度の面積の増加と工事単価の上昇によるものである。増加分がそのまま実質の負担金とはならないが、令和4年度の再配置策定時から補助金等を主な財源として財政シミュレーションを行ない検討を進めており、現在見込まれている事業費が財政上の上限との判断である。

これ以上の事業費の高騰は、これまでの議論されてきた計画通りに行う事が困難となり大幅な変更を余儀なくされるものと考えているが、町民の皆様より賜った貴重なご意見に配慮しつつ重要度や必要性に応じた取捨選択を行い、適宜施設規模や仕様を見

直し、新たな財源確保に努めつつ基本設計を行う事としていく。

澤田議員

資機材や人件費等の高騰で、計画通りの予算規模と工期内で進められるか危惧している。複合施設とは別に、新たに学校教育として義務教育学校の設置に大きな期待をするところであり、何としても進めなければならないと考えている。

佐々木町長

色々困難な事はあるが、北竜町として義務教育学校の設置は最も重要な事と考えており、実現に向けて努めていく。



寺垣議員

パートナースhip制度導入の検討について

寺垣議員

パートナースhip制度は、同性カップルの結婚が法的に認められていない日本におい

て自治体が独自に「結婚に相当する関係」としてパートナ

ースhipを認める制度で、公営住宅への入居、病院での家

族扱い、生命保険の受取人指定など様々な手続き等において同性カップルも家族と同様の扱いを受けることが可能になる制度である。

お互いの個性や多様性を認め合い、誰もが生きがいや誇りを持ち、自分らしく活躍できるまちづくりを実現するための性的マイノリティの方々に住みやすいコミュニティを目指すものとして、現在道内において、導入または導入を検討中の自治体が増加の傾向にある。

北竜町においても、全ての住民が住みやすいまちづくりを維持するうえで導入を前向きに検討するべきと考えるが、理事者の考えを伺いたい。

佐々木町長

パートナースhip制度では、同性婚が法制化されていない日本において、2人が人生のパートナーであることを自治体に宣誓し、当該自治体より証明書を交付する制度である。自治体の行政規則等で定める制度であり、婚姻や親族関係の形成、相続、税金の控除等を伴うものではない

が、お互いに人生のパートナーとして安心して共同生活ができるように行政側がその関係を尊重し寄り添うことは意義のあることだと考える。

佐藤議員

ふるさと納税の増加・確保について



合う共生のまちづくりを進めていくためにも、パートナースhip制度の導入について、道や道内自治体の動向について調査を進めながらその必要性や町民の意識などを配慮したうえで、検討して参りたい。

佐藤議員

ひまわり観光センター内に、ふるさと納税の返礼品の展示スペースを確保し、観光客に宣伝し、ふるさと納税額を増やす対策が必要だと思いが、理事者の考えを伺いたい。

佐々木町長

ひまわり観光センター内における、これまでの取り組みはふるさと納税のパンフレットのみの設置となっており、効果的な取り組みは行っていない。昨年度から、北竜町に訪れた方がその場で寄付をし、そ

の場でサービスを受ける事ができ、返礼品贈呈のタイムラグや、予約の手間を抑える事ができる「現地決済型ふるさと納税」の導入を検討しており、本年度、ひまわりまつり開催中の一部期間とはなるが、電子決済端末を活用し試験的に導入を予定している。また、返礼品についても、現地決済型ふるさと納税により取扱いが可能となる物を検討するなど、今後とも多くの方に御寄付を賜れるよう努めて参りたい。



木村議員

ふるさと納税の主要返礼品であるひまわりライスの確保について

木村議員

令和の米騒動により、政府は緊急避難的に特別対策として備蓄米を安く販売している。今後の農林水産業政策、その中でも生産者と消費者の生活を守る食糧政策をどのように進めようとしているのか注目している。

①このような現状の中で、令和7年北竜町で生産される米をふるさと納税の返礼品として、どの程度確保出来る見通しなのか伺いたい。
②今後、より多くのひまわりライスを確保するために、どのような対策が必要だと考えているか伺いたい。

佐々木町長

ふるさと納税の主力返礼品であるひまわりライスについては、JAきたそらち担当者と同様の4,000俵を最低限確保し、さらに出来秋により可能な限り納税用とし

て確保出来るよう、協議を進めている。

ふるさと納税により北竜町の米が広く認知されることは、生産者の皆様にも励みになると思うので、より多くの数量を確保する事は大変重要と考えている。生産数量の設定等もあり、今後もJAきたそらちと情報共有を行なっていく。

木村議員

今後とも農協等関係団体と十分な連携を取りながら目標の上積みを図って頂きたい。主要食糧を市場原理だけに任せるのではなく、生産者には生産費所得補助を基準として、農地を守るための直接支払制度が必要だと思う。

佐々木町長

ひまわりライスをよりイメージアップして、広く消費者に認知されるように、ひまわりライスのパッケージをより魅力的なものに変更するた

め、JAきたそらちとの協議を進めている。

農地への直接支払制度は必要だと思うので、今後の要望活動に加えていきたい。

行政視察

6月6日、町理事者・担当課長等出席の下、行政視察を実施しました。

町内視察

社会教育施設、商業活性化施設ココワ、永楽園、町立診療所、恵岱別ダム、しらかば並木公園、サンフラワーパーク北竜温泉、みのりつつ、ひまわりパークゴルフ場、ひまわりの里 他



活動報告

〔7月〕

- 1日：伴走支援業務に関する説明会
- 7日：北空知議会議長連絡協議会中央要望実行運動事前打ち合わせ
- 8～9日：北海道町村議会議長会議員研修会及び道内行政視察
- 10日：北空知消防演習
- 15日：北竜町交通安全の日町民集会、JAきたそらち北竜支所組合員の集い
- 16日：空知町村議会議長会議員研修会
- 17日：総務産業常任委員会、まちづくり等調査特別委員会、伴走支援業務に関する意見交換会
- 20日：ひまわりの里オープン式
- 23日：例月出納検査(監査委員)
- 25日：北空知議員研修会及び親睦交流会
- 28日：北空知衛生センター組合議会臨時会、北空知広域水道企業団議会臨時会

活動予定

〔8月〕

- 4～6日：空知町村議会議長会中央要請活動
- 6～8日：北空知議会議長連絡協議会中央要請活動
- 18～21日：決算審査(監査委員)
- 28日：興部町議会行政視察
- 未定：総務産業常任委員会、まちづくり等調査特別委員会、例月出納検査(監査委員)





議員 コラム

終戦記念日が近づいており
ますが、昨年研修で鹿児島県
の知覧特攻平和会館に行く機
会がありました。

ここは第二次世界大戦末期
の沖縄戦において、特攻とい
う飛行機もろとも体当たり攻
撃をした、平均年齢21歳の隊
員達の遺品や資料を展示して
いるところであり、卓球の早
田ひな選手がパリオリンピック
後の帰国会見で、まず行き
たい場所にあげて話題になっ
た所です。

展示されている資料の中に
は、残された家族への手紙が
多数あり、どうしても親の目
線で見てしまつて胸が痛くな
りました。

戦争を美化しているとの批
判もあるようですが、悲劇を
繰り返さないための大切な資
料館と感じましたし、今の日
本の平和が当たり前ではない

事を再認識できる所だと思
います。

最近はやチューブなどで
隊員達の写真をAI加工し、
精悍な顔つきが徐々に柔らか
な笑顔に変化していく動画も
数多くみられます。

私が子供の頃には授業で習
った他に「はだしのゲン」や
「火垂るの墓」などの戦争を
題材にした映画がよくテレビ
で放映されていました。しか
し今は原爆の描写が過激すぎ
るなどの理由であまり放映さ
れていないようです。

戦後80年が経ち平和な日常
が当たり前になっている今、
終戦記念日には改めて平和を
祈念する時間を持ちたいと思
います。

今年も高温の日が続いてい
ますので、皆様くれぐれも熱
中症にはお気を付けください。

(沖野学)

第29回議会議長杯 町民パークゴルフ大会

第29回議会議長杯町民パークゴルフ大会は6月27日に開催され40名（男性29名、女性11名）が参加しました。

全議員が参加し町民の方々と交流しながら盛会のうちに終了しました。

●男子の部 優勝

竹田 竹春 氏

●女子の部 優勝

大路 恵津子 氏

